

中野四季の森公園における自転車駐車場整備について

1. 整備の目的

中野駅地区整備基本計画(平成26年3月改定)において、公共自転車駐車場は中野駅周辺中心部の歩行者優先エリアの外周に自転車駐車場を分散して配置することとしている(別添1参照)。

このことから、駅周辺の自転車ネットワークの考え方にに基づき、中野四季の森公園に自転車駐車場を整備する。

2. 整備の概要

1) 整備箇所

中野四季の森公園拡張用地の東側部分(別添2参照)

2) 施設概要

整備形式 地下自走式
(地上から斜路により地下に進入し、地下空間にて自走式で駐車する。)

計画範囲 約2000m²

収容台数 約1500台

地上構築物 出入口(中野区画街路1号線側)換気塔 緊急避難口

主な施設 ラック(一部平置き)、斜路付階段(サイクルコンベア付)、管理人室、換気設備など

3. 今後の予定

平成28年度	自転車駐車場実施設計
平成28年11月	都市計画審議会(都市計画原案報告) 区民説明会の開催 都市計画案の作成
12月	都市計画案の公告・縦覧(法17条)
平成29年1月	都市計画審議会(都市計画案諮問) 都市計画決定
平成29年度	都市計画事業認可 工事着手
平成30年度末	工事完成 供用開始

中野駅地区整備基本計画（平成26年3月改定）【抜粋】

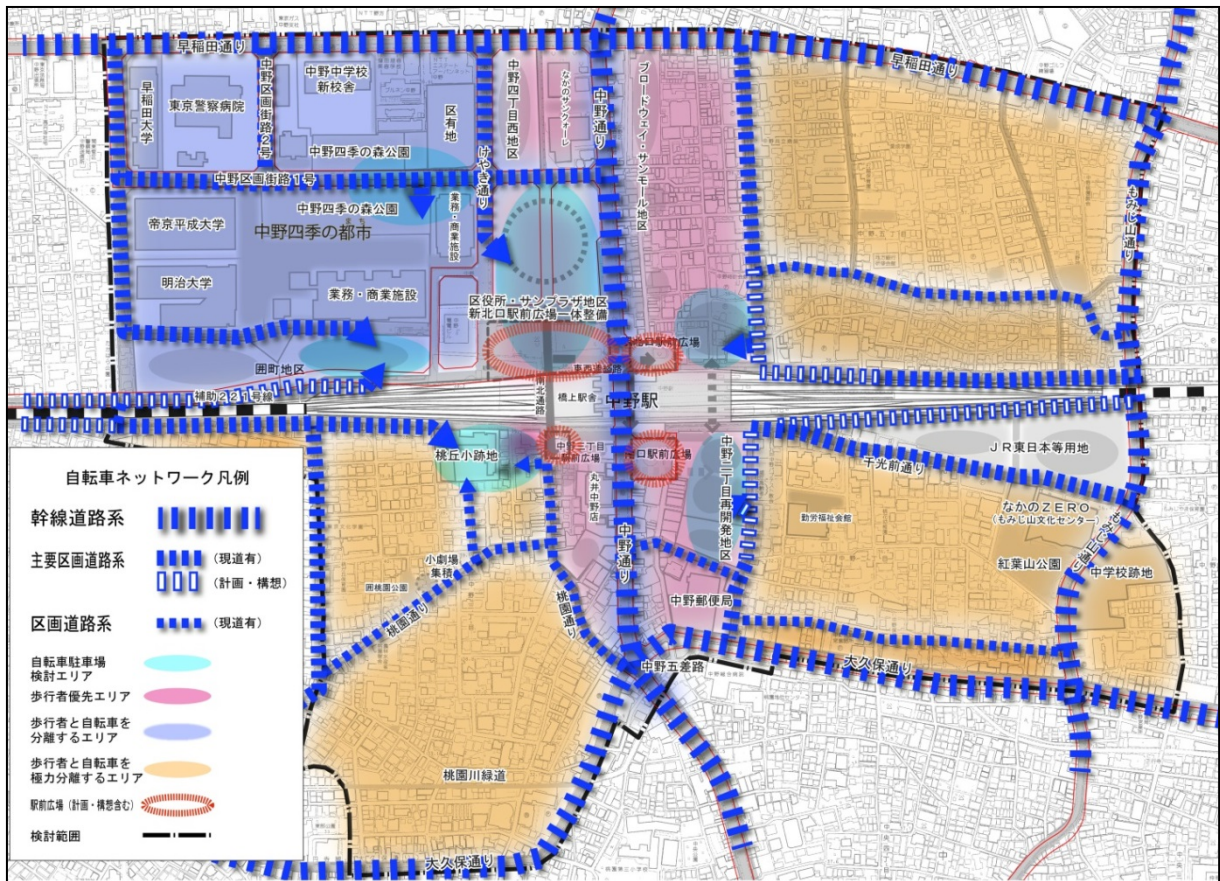
1. 中野駅周辺の主要動線の考え方（自転車ネットワーク・動線）

(1) 交通アクセス・安全性の向上

- ・ 通過交通は中野通り、早稲田通り、大久保通り及びもみじ山通りの幹線道路を經由し、地区内の道路は經由しないよう誘導を図る。
- ・ 各丁目のエリア内において、自転車駐車場までの移動や地区内の移動を円滑に行えるよう東西及び南北方向の動線を拡充。
- ・ 自転車走行位置の明示等により、歩行者・自動車との道路内の空間分離を図り、自転車走行環境を向上。

(2) 自転車駐車場の配置

- ・ 中野駅周辺中心部の歩行者優先エリアの外周に、自転車ネットワークに配慮した自転車駐車場を分散して配置する。
- ・ 整備にあたっては、民間開発等との連携を図り、適切な公民の役割分担に配慮する。
- ・ 出入口は歩行者動線との交差を避けるなど適切な位置に設けるよう配置する。



自転車ネットワークの将来イメージ図

2. 自転車駐車場整備の内容

- ・ 自転車駐車場の整備台数 7, 500台
 (駅北側：6, 000台、駅南側：1, 500台)
 ※詳細の配置については分散配置の視点により検討

